

【シリーズSDGs ⑥】  
身近なところからSDGsの取組をしましょう。

## ゴール6「安全な水とトイレを世界中に」

SDGsゴール6は「安全な水とトイレを世界中に」を目標としています。

世界では、水道の設備がなく、安全な水を使えない人が約22億人、トイレがなく、道端や草むらなど屋外で用を足す人が6億人以上いると言われています。これらの衛生的な環境が整っていないことが原因で疾患し、亡くなる子どもが年間180万人います。また、生活に必要な水をくみに女性や子どもが遠くまで時間をかけて行くことで、仕事や学校に通うことができない状況もあります。

日本では、当たり前のように蛇口をひねれば水が出ます。また、自宅や学校、公園などに清潔なトイレも整備され安全で衛生的な水を利用できますが、日本のような国は世界でも数えるほどしかありません。

今後、地球温暖化の影響などで世界的に水不足になることが予想されています。あたりまえの「水」

を大切にしましょう。

○行政の役割としては

安全で清潔な水へのアクセスは住民の日常生活を支える基盤です。水道事業は自治体の行政サービスとして提供されることが多く、水源地の環境保全を通して水質を良好に保つことも自治体の大事な役割です。

○私たちができること(例)

- ・日本の上下水道が発展した経緯や世界における水の状況を調べてみる。
- ・普段自分がどれだけ水を使っているか意識してみる(調べてみる)。
- ・水を無駄使いたくないよう心がける。

2030年までの国際的な目標の実現に向け意識をして実践しましょう。



私たちができること(例)



水を出したままにしない



世界の水の状況を調べてみる

## 目標達成のためのターゲット

- 2030年までに、だれもが安全な水を、安い値段で利用できるようにする。
- 2030年までに、必要な時は国境を越えて協力して、あらゆるレベルで水源を管理できるようにする。
- 2030年までに、集水、海水から真水をつくる技術や、水の効率的な利用、排水の処理、再利用技術など、水やトイレに関する活動への国際協力を増やし、開発途上国がそれらに対応できる力を高める。

SDGs6「安全な水とトイレを世界中に」では、上記のようなターゲットを9個掲げ、目標達成に向けて取り組みを進めていきます。

※公益財団法人 日本ユニセフ協会HP引用

問 企画商工観光課 企画・SDGs推進班 ☎(72)1151